

TULLES AND HIS SHADOW

contemporary musical and poetic journey

チュール君と影

音楽とお話と
パントマイムの旅

4歳
から入場OK!!

8
6日

14:00開演 (・13:30開場
・上演時間/約50分)

長野市芸術館アクトスペース

全席自由 税込 ¥1,000 (4歳から入場可能)

■ 助成/後援: 在日ルクセンブルク大公国大使館/
ルクセンブルク大公国文化省



アンサンブル・ルシリン

- ヴァイオリン … アンドレ・ボンヌ=ヴァルデス/ファビアン・ベルディチヅ
- ヴィオラ …… ダニエル・ヘニコ
- チェロ …… ジャン=フィリップ・マルティニョーニ
- ピアノ …… バスカル・マイヤー
- サクソフォン … オリヴィエ・スリーペン
- 打楽器 …… ギイ・フリッシュ
- マイム …… ヴォルフラム・フォン・ボーデカー/アレクサンダー・ネアンダー

『チュール君と影』は、ルクセンブルクがヨーロッパ文化都市だった2007年に初演されて以来、2013年にルクセンブルクで再演。他にロッテルダム、フランスのリール、そして昨年は、ウィーンのコンツェルトハウスで2日間計6回の公演を行い、アジアでの公演は今回が初めて。特筆すべきは、ルシリンと共演するパントマイムのボーデカー&ネアンダーが、パントマイムの神様“マルセル・マルソー”の直弟子であるということです。

ルクセンブルクって知っていますか? フランスとベルギーとドイツに囲まれた小さな国ですが、とても豊かなステキな国です(参考情報:人口約58万人/都内ですと杉並区が約57万人、面積2,586km²)。そのルクセンブルクからやってきたルシリンのみなさんが、みなさんに「チュール君」を紹介します。

チュール君は、いつもひとりで遊んでいます。でもひとりぼっちというわけではありません。

おともだちがいっぱいいます。いろいろな動物たち、自分だけのオーケストラ、海賊船の船長さんとも遊びます。それとインディアンのおしゅうちゃんとも戦いごっこをします。でも、いちばんなかのいいともだちは、実は、チュール君なんです。いつもいつもいっしょに冒険に出かけます。

作曲家のマルティン・マタロン、パントマイムのふたり、そして楽器を演奏するルシリンといっしょに、音楽とお話の旅に出かけましょう!

